

令和4年度 滋賀県立膳所高等学校 入学式式辞

春の日差しに包まれ、桜花爛漫、木々が一斉に芽吹きはじめ、新たな生命の息吹を感じさせる今日の佳き日、まさしく木々の新芽のように若々しく無限の可能性に満ちた新入生の皆さんを迎える日がやってきました。

膳所高校同窓会長様、膳所高校父母教師の会会長様には、ご多忙の中ご臨席いただき、誠にありがとうございます。高い所からではありますが、厚くお礼申しあげます。

ご出席いただきました保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。本校教職員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

ただ今入学を許可しました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日から皆さんは、輝かしい歴史と伝統のある膳所高等学校の一員として、高校生活の第一歩を踏み出すことになります。

皆さんの心の中には、入学の喜びと、これから始まる日々への希望や期待が満ち溢れていることと思います。一方で、友達ができるだろうか、勉強についていけるだろうか、と心配している人もいるかもしれません。

大丈夫です。

皆さんの周りには、これからの高校生活をともに過ごし、助け合い、高め合い、生涯の友人となるであろう仲間がいます。困ったときには手を差し伸べ、相談に乗ってくれる先生がいます。そして、日々皆さんを支えてくださる家族の方がいます。

これから始まる皆さんの高校生活のために、本校ではさまざまなプログラムを用意しています。探究的な学びの機会や、大学との連携事業、生徒主体で取り組む班活動や、盛り上がる学園祭、生徒会行事など、ぜひ積極的に参加し、たくさんのことを学び、楽しく充実した高校生活を送ってほしいと思います。

そして、本校の校門脇のクスノキが大地にどっしりと根を張って、天に向かって大きく伸びているように、本校での3年間で、大きくたくましく成長していただくことを期待しています。

本校は、明治31年(1898年)に創立された滋賀県第二尋常中学校を起源とし、今年で125年目を迎える歴史と伝統ある学校です。この間、質の高い教育活動により、全国でも指折りの高等学校としてその名を轟かせ、社会のあらゆる分野において、リーダーとして活躍する優れた人材を世に送り出してきました。また、伝統的に、文武両道をモットーとし、生徒それぞれが高いレベルの学習活動と班活動に励んできました。

さらに、平成18年度から文部科学省のスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受け、その研究活動の実績は、全国の指定校の中でも、とりわけ高く評価されています。昨年度からは、4期目の指定校として継続することが認められるとともに、科学技術人材育成重点校の指定校にも選ばれ、県内外の高校とも連携し、AI・人工知能やデータサイエンスなどに関わる新たな取り組みも進めています。皆さんにもぜひ積極的に参加していただきたいと思います。

さて、皆さん、本校の校訓がこの式場の正面左側に掲げてありますのでご覧ください。本校の校訓は『遵義－誠実な心で、真理と正義を追求し、人類の未来に貢献しよう』と『力行－自主・自律を尊び、心身を鍛え、高い理想に向かおう』です。

「遵義」の「遵」は、「したがう」、「義」は「人として踏み行うべき正しい道」のことです。人として踏み行うべき正しい道に従う、つまり、独りよがりの偏った判断をせず、私利私欲にとらわれた心ではなく、誠実な心を持ち、また、表面的な現象や目先の利益や手段にとらわれずに、本質的で不易な真理と正義を追求し、世界の平和と全人類の幸福の増進のために貢献できる人間になろう、と呼びかけているのです。

また、『力行』は、「努力し実践に励む」という意味です。誰かから強制されてするのではなく主体的に行動し、善悪に厳しく、自ら進んで自分を律し、文武両道などの手法で心身を鍛え、限りなく自己を高め、崇高な理想に向かうことを期待しています。

皆さんには『遵義・力行』に掲げられている気高い精神を胸に、高い志を持って、これまで先輩たちが築かれた輝かしい実績を受け継ぎ、充実した学校生活を送られることで、自分の良さをそれぞれに大きく伸ばして、本校の歴史に新たな一ページを加えてください。

新型コロナウイルスにより世界は大きく変わりました。感染症の収束は未だ見通せない状況ではありますが、「新しい日常」に私たちは対応していかなければなりません。

昨年度、本校の学園祭である湖風祭においては、生徒会を中心に生徒が自分たちでコロナ対応のマニュアルを作成し、プログラムも創意工夫しながら、できるかぎりこれまでと同じような内容で実施されました。修学旅行も、行先は九州方面へ変更となりましたが、生徒一人ひとりが感染防止に注意をし、一人の感染者も出さずに実施できました。

今後も、こうした知恵を懲らしつつ、感染拡大防止には細心の注意を払いながらも、授業、班活動、学園祭や修学旅行といった学校行事など、皆さんにはできる限り、これまでの膳所高校生が経験してきた高校生活と変わらない日常を過ごしてほしいと考えています。

私たちは、そう遠くない先に、必ずこの新型コロナウイルス感染症を克服することができるでしょう。人類の歴史は、感染症との闘いの連続であったと言っても過言ではありませんが、これまで様々な感染症を、科学の力で制してきました。今も、多くの方々による献身的な努力が続けられています。

皆さんも、『遵義・力行』の校訓の下、将来、様々な分野における問題を解決し、人類の未来に貢献できるような人になっていただきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、大切なお子様を本校の生徒として、本日よりお預かりすることになりました。高校生活は、お子様が責任ある大人として自立していく重要な過程の真っ只中にあり、様々な課題に遭遇する時期でもあります。家庭と学校の連携を深めながら、その成長を見守っていきたいと思います。どうか、本校の教育に温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

本校での3年間、充実した日々をすごされ、豊かに逞しく成長されることを心より祈念し式辞といたします。

令和4年4月8日

滋賀県立膳所高等学校
校長 富江 宏